

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 4 年 7 月 21 日(2022.7.21)

【公開番号】特開 2021-21036(P2021-21036A)

【公開日】令和 3 年 2 月 18 日(2021.2.18)

【年通号数】公開・登録公報 2021-008

【出願番号】特願 2019-139665(P2019-139665)

【国際特許分類】

C 08 J 9/06(2006.01)

10

B 41 N 6/00(2006.01)

B 41 F 27/14(2006.01)

B 41 F 5/24(2006.01)

B 32 B 5/18(2006.01)

B 32 B 27/32(2006.01)

【F I】

C 08 J 9/06 C E S

B 41 N 6/00

B 41 F 27/14

B 41 F 5/24

20

B 32 B 5/18

B 32 B 27/32 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 7 月 12 日(2022.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくともポリオレフィン系樹脂を含む発泡性組成物を発泡してなる発泡シートであり、25%圧縮強度が50～750kPaであり、25%圧縮を30回繰り返した際の応力保持率が70%以上である発泡シート。

【請求項 2】

10%圧縮強度が30～150kPaである請求項 1 に記載の発泡シート。

【請求項 3】

25%圧縮強度に対する10%圧縮強度の比〔 $100 \times (10\% \text{ 圧縮強度} / 25\% \text{ 圧縮強度})$ 〕が20～95%である請求項 1 又は 2 に記載の発泡シート。

40

【請求項 4】

発泡倍率が2～20cc/gである請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載の発泡シート。

【請求項 5】

厚みが0.1～1.0mmである請求項 1～4 のいずれか 1 項に記載の発泡シート。

【請求項 6】

下記式(1)で表される気泡扁平率が50～1000%である請求項 1～5 のいずれか 1 項に記載の発泡シート。

$100 \times MD \text{ 方向の平均気泡径} \times TD \text{ 方向の平均気泡径} / (ZD \text{ 方向の平均気泡径})^2 \cdot \cdot (1)$

【請求項 7】

50

平均気泡径が $30 \sim 200 \mu\text{m}$ である請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の発泡シート。

【請求項 8】

独立気泡率が 75 % 以上である請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の発泡シート。

【請求項 9】

ゲル分率が 20 ～ 70 質量 % である請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の発泡シート。

【請求項 10】

25 % 圧縮時におけるヒステリシスロスが 30 % 未満である請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の発泡シート。

【請求項 11】

少なくともポリオレフィン系樹脂を含む発泡性組成物を発泡してなる発泡シートであり、
25 % 圧縮強度が $100 \sim 300 \text{ kPa}$ であり、25 % 圧縮を 30 回繰り返した際の応力保持率が 90 % 以上であり、10 % 圧縮強度が $50 \sim 90 \text{ kPa}$ であり、25 % 圧縮強度に対する 10 % 圧縮強度の比 $\{100 \times (10 \% \text{ 圧縮強度} / 25 \% \text{ 圧縮強度})\}$ が 30 ～ 95 % であり、25 % 圧縮時におけるヒステリシスロスが 1 % 以上 20 % 未満である発泡シート。

10

【請求項 12】

印刷ロール用クッション材用である請求項 1 ～ 11 のいずれか 1 項に記載の発泡シート。

【請求項 13】

請求項 1 ～ 12 のいずれか 1 項に記載の発泡シートと、該発泡シートの両面に設けられる粘着剤層を備える積層体。

20

【請求項 14】

請求項 1 ～ 12 のいずれか 1 項に記載の発泡シートと、該発泡シートの少なくとも一方の面に設けられる支持体とを備える積層体。

【請求項 15】

両面に粘着剤層もしくは接着剤層を備える請求項 14 に記載の積層体。

30

40

50